

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社ウェルファムフーズ	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-0074 東京都千代田区九段南一丁目6番5号	
本票作成	部署名：リスクマネジメント部			
主たる業種	分類コード 09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	ブローラーの肥育、処理、加工 岡山事業所従業員数：276名（2024年3月）			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	岡山事業所岡山工場	新見市西方1567	
	②	岡山事業所 吉家E農場	高梁市備中町西山2415	
	③	岡山事業所 足見A農場	新見市土橋37	
	④	岡山事業所 足見B農場	新見市足見2177	
	⑤	岡山事業所 吉家B農場	高梁市備中町西山2540-2	
⑥	岡山事業所 豊永A農場	新見市豊永赤馬3240-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 27所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5年度)年度排出量	目標年度(令和6年度)	
	14,703 t CO ₂	15,928 t CO ₂	16,023 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5年度)年度排出量	
	①	岡山事業所岡山工場	7,197 t CO ₂	
	②	岡山事業所 吉家E農場	611 t CO ₂	
	③	岡山事業所 足見A農場	631 t CO ₂	
	④	岡山事業所 足見B農場	369 t CO ₂	
	⑤	岡山事業所 吉家B農場	468 t CO ₂	
⑥	岡山事業所 豊永A農場	354 t CO ₂		
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ~ 令和6年度 (5箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準 (5年度)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準 5.3 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 岡山工場の生鳥処理重量(トン)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5年度)年度	目標年度
		0.416 t CO ₂ /(トン)	0.394 t CO ₂ /(トン)	0.395 t CO ₂ /(トン)
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度) 達成率等	
【削減状況の自己評価】				
2023年度は特に農場でのLPG使用量増加が影響し、温室効果ガス排出量が増加。処理重量も増えたが、原単位は前年比102.3%と悪化した。				

【推進体制】

・岡山工場を運営する製造部にエネルギー管理士、農場を運営する農場部にエネルギー管理員の有資格者を配して、省エネルギーに取り組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山事業所 製造部(岡山工場)	<p>(2023年度に実施した措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前午後の休憩時間15分間に不要設備の停止 ・工場内空調機の夜間停止 <p>(今後実施予定の措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存照明のLED化を順次進めていく。
岡山事業所 農場部	<p>(2023年度に実施した措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した屋根の張替えにより鶏舎の断熱を強化し、結露防止と冬場の保温を実現。 ・経年劣化した外カーテンを断熱カーテンに変更し、断熱強化。 <p>(今後実施予定の措置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化鶏舎の大規模改修(床暖房設備・屋根・壁・羽戸)により気密性向上、断熱強化。 ・外カーテンの断熱カーテンへの変更による断熱性能の向上。 ・鶏舎内温度、湿度及び二酸化炭素濃度を随時クラウド上で確認可能なIoT機器を全農場に設置完了し、飼育管理データを蓄積することで、エネルギー管理含め、最適な飼育管理の検討を継続していく。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】